

支庁の風

東京都ホームページ: <http://www.metro.tokyo.jp>
 八丈支庁ホームページ: <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/09hatijou/index.htm>

平成17年3月1日<隔月>
 支庁広報 第24号

発行所
 東京都八丈支庁総務課
 〒100-1492

八丈島八丈町大賀郷 2466-2
 Tel:04996-2-1111 Fax:04996-2-3601
 Mail:S0000048@section.metro.tokyo.jp

16年度はこのよう な事業を行いました

八丈支庁で行った事業の一例を紹介いたします。

『ロベ防風・防霜施設の整備』
 ●産業課農務係では関係機関とともに、『ロベ産地活性化プロジェクト』を行っています。



大賀郷に設置されたハウス

プロジェクトでは、①優良種苗の供給システムの構築、②防風・防霜施設の整備や病害虫対策、③労力の確保、④共撰・共販出荷促進など流通の改善、⑤堆肥化等の老朽木の有効活用などに取り組みんでいます。

16年度は、山村・離島振興施設整備事業として農協が事業主体となり、大賀郷・檜立・末吉の3箇所にネットハウスを設置しました。これらのハウスでは、園芸技術センターが関係機関と連携し、農家の協力を得ながら、切葉の品質や作業効率、霜や季節風、塩害等の影響を調査し、施設整備の効果を実証していきます。
 ●水産物の産地消への取組
 ●水産係では、町や漁協、学校など

関係機関と連携し、水産物の産地消を進めています。

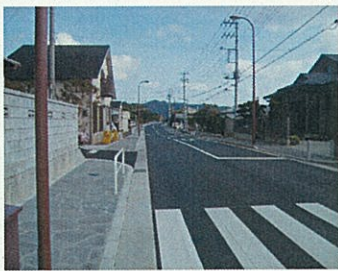


島の魚を食べる園児たち

これまで、あまり食べられてこなかった島の魚を、漁協女性部が加工して、学校や老人ホーム、保育園の給食に提供できる仕組みをつくりました。今後は、宿泊事業者等への安定供給や、新たな加工品開発などの取組を支援しながら、島内外での販路拡大を進めていきます。

道路・海岸の整備

●土木課では、各地区の道路の拡幅や歩道の設置を約11億4,000万円で行いました。また、都市計画道路の4区間工事（都道南原入口の反対側）を約2億7,000万円で行いました。



檜立の道路改修工事箇所

海岸事業では、

洞輪沢や汐間海岸の護岸整備・補修を約4,000万円で行いました。

大賀郷園地の整備

●もうすぐ大賀郷園地がオープンしま



港湾の整備

●港湾課では、漁港整備事業として、漁港内の波を静かにするため、3漁港で防波堤を整備し、神湊漁港では、約6億9,000万円で行いました。写真は東京から船で引つ張ってきたケーソン（本誌16年7月号に掲載）を設



す。園地整備事業として7,700万円、トイレや休憩舎、駐車場の整備を行いました。17年度に多目的広場と芝生広場を開放できるよう現在、急ピッチで工事を進めています。開放後の広場では、思い切りかけっこをするもよし、八丈富士や三原山を眺めながらお弁当を食べるのもよし、広々とした芝生の楽しみ方を見つけてみてはいかがでしょうか。整備が終わるまで、もう少しばかりお待ちください。なお、広場の利用方法と開始時期は、現在協議中のため、決まり次第お知らせします。

置しているところです。青ヶ島港では港湾整備事業として、現在整備中の臨港道路（本誌15年11月号に掲載）への波を防ぐ護岸整備を約8億9、000万円で行いました。

また、平成13年度から進めてきた八丈島空港拡張整備が完了し、昨年9月30日から2、000m滑走路の供用を開始しました。

福祉事業

●総務課福祉係では、生活保護に、9、735万円、障害者福祉等の手当に139万円、女性福祉貸付金に639万円、合計1億513万円の給付・貸付を行いました。

アドベンチャースクール

●教育庁八丈出張所では、約1、200万円の予算で実施された「アドベンチャースクール」（7

17年度予算案の概要

平成17年第1回都議会定例会が2月23日に開会しました。会期は3月30日までの36日間、平成17年度一般会計予算案などが審議されます。

平成17年度予算は、第二次財政再建推進プランの折り返し予

月）の受け入れに関する連絡・調整を行いました。参加した子どもたち96名とリーダー16名たちは、台風10号の影響で大賀郷公民館に延泊するなど、厳しい八丈島の自然の中で体験活動を行いました。



算として、「東京の新たな発展を指しつつ、財政構造改革を一層推進する予算」と位置づけられ、一般会計の予算規模は、前年度に比べて2・6%増の5兆8、540億円となっています。

八丈支庁管内の予算と事業内容については、次号以降に掲載予定。

八丈支庁赴任者交流会を開催

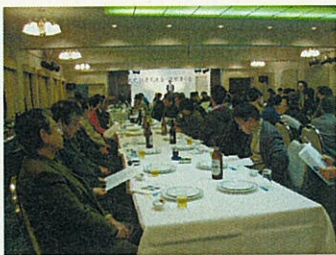
1月22日、以前八丈支庁等に赴任していた職員や退職者、現職員が100名程参加した交流会を職員有志が中心となって開催しました。

交流会の目的は、親睦を図ることに加えて、来島者を少しでも増やし、観光の活性化に寄与したいという思いが込められています。

交流会では、島料理や島酒に舌鼓を打ちながら、昔話や現在の八丈島、青ヶ島の話で大いに盛り上がり、楽しく有意義な一時を過ごすことができました。なかでも『とみめのフライ』は、「赴任していた頃は流通しておらず食べられなかったが、あまりのおいしさにびっくりした」と大好評でした。

島外の参加者（41名）から次のような意見がありました。

「今の八丈島は、道路、港湾、温泉施設等が整備され良くなった」、「観光振興には島ならではの魅力的な『売り』を作ることが必要」、「すばらしい自然があるだけで十分」ということを認識し、IT等を活



用して全国に向け幅広くPRする」、「北国からのチャーター便を受け入れる」、「タクシーの利便さは、東京諸島で一番なのでその活用を」、「町村と連携を密にして観光振興に取り組んで」などでした。

今後、赴任者交流会の開催を継続し、退職者や元赴任職員から、島の振興に対していろいろな支援・アドバイスを受け、八丈島と青ヶ島の発展に活かしていきたいと思います。

三宅島帰島始まる

2月1日、三宅島の避難指示が解除され、帰島第1陣となる村民62人が竹芝桟橋を出発し、翌2日帰島しました。

2月9日には、三宅島島民連絡会の西野さん、池田さん、横川さん3名が八丈支庁を訪れ、連絡会の活動停止の報告と、これまでの支庁の支援に対する謝意、帰島後の復旧復興への支援要請がありました。

また、都は三宅島の島民の方々に支援するため、三宅島帰島支援の義援金の募集について、全庁的に取り組んできましたが、本年1月、取りまとめた義援金を三宅島帰島支援対策本部に贈呈しました。義援金の総額は約9、600万円でした。

今年も港湾課職員が

「課外授業」の先生に!

2月8日に青ヶ島小学校で、15日には大賀郷小学校で港湾課職員が課外授業を行いました。

これは「親しみのある港づくり」広報活動の一環として毎年行っているものです。

青ヶ島小学校では「青ヶ島(三玉)港のつくり方」と題して、青ヶ島港の歴史と工事の方法を、大賀郷小学校では「港のつ



青ヶ島小学校での課外授業の様子

くり方(ケーソン編」と題して、ケーソン(本誌16年7月号に掲載)の工事方法を分かりやすく解説しました。

また、青ヶ島

港湾課工事係

TEL 2-1115

「子育て講演会」のお知らせ

教育庁八丈出張所では、家庭教育を支援するために「子育てのおはなし～子育て講演会」を開催します。家庭教育カウンセラーとして各講演会等で活躍されている内田玲子先生をお招きして、子育てのヒントとなるお話をさせていただきます。

お子さんが学校に通っている方、これからお子さんが学校に入学する方、子育てで悩んでいる方、子育てに興味・関心のある方、教育関係者、健全育成関係者などなたでも参加できますので、この機会に是非ご参加ください。

参加費は無料です。

- テーマ:「親は子どもの心の研究者」
 - 日時: 3月5日(土)午後2時～4時
 - 場所: 八丈支庁3階大会議室
- 教育庁八丈出張所 TEL 2-0742

シリーズ「災害に備えて」②

津波対策

「すぐに高いところへ避難!」

昨年12月に発生したスマトラ沖地震による津波被害は、約30万人の被災者を出し、私たちに津波の恐ろしさを改めて感じさせられるものでした。津波は、周囲を海に囲まれて生活している私たちに非常に大きな被害を与えることが予想されます。

八丈町と青ヶ島村では、昨年9月の紀伊半島沖地震、今年1月の八丈島の東北東沖地震が発生したときに津波注意報が発令されています。特に、1月の地震発生時には、揺れは小さかったものの神湊漁港で数十cmの津波が観測されました。

◆防災無線による周知

八丈町では、気象庁から「大津波警報」、「津波警報」、「津波注意報」が発令されると、防災無線が自動的に作動して次のような内容の放送が流れる仕組みになっています。通常とは異なる信号音から始まり、大津波警報の場合には、「大津波警報が発表されました。高いところで約3m以上の津波の襲来が予想されますので嚴重に警戒してください。海岸付近の地区の方は、火の始末をして

近くの高台に避難してください」、津波警報の場合は、「高いところで約2m以上の津波」と流れます。これらの放送が流れたときには、放送に従い「すぐに高いところへ避難」してください。

津波注意報の場合は、「高いところで数十cmの津波の襲来が予想されます。海岸にいる人は海岸から離れ、今後の情報に注意してください」と放送が流れます。青ヶ島村も同様に防災無線で放送が流れます。津波警報・注意報の解除の放送が流れるまで、細心の注意を払うようにしてください。

◆都の津波対策

次に、東京都が進めている津波対策について紹介します。八丈町が東南海・南海地震の防災対策推進地域に指定されたことを受けて、都は津波浸水予測調査を行い、報告書をまとめました。報告書によると、東南海・東海地震が連動して発生した場合など4つのケースを想定しており、八丈島では、地震発生30分後に約3・5mの第1波が襲来するとされています。これらの想定に基づいて、管内町村や各防災関係機関と連携・協議し、住民の皆さんが安心して生活できる対策を進めていきます。

総務課庶務係 TEL 2-1111

アシタバに使える農薬が変わります。経過措置の終了

平成15年3月に農薬取締法が改正されましたが、アシタバのように生産量が少ない作物に使用できる登録農薬は少なく、このため、特定の農薬を特別に使用できる経過措置期間が設けられていました。

しかし、この期間が3月31日をもって終了し、経過措置によりアシタバに使用できた5剤（ダコニール1000、マラソン乳剤、トップジンM水和剤、アディオン乳剤、コロマイト乳剤）については、4月以降使用できなくなりました。

一方、本年1月末時点で、アシタバに3種類（ロブラル水和剤、コテツフロアブル、マラソン乳剤）の農薬登録申請が薬剤メーカーから国に提出されています。早ければ3月中には登録される見込みですので、4月からは、これまで登録農薬の適正な使用に努めてください。

なお、バシレックス水和剤など「野菜類」に登録のある薬剤も使用できます。

産業課農務係 Ⅱ二一一一三

組織改正に伴う「島しょ農林水産総合センター八丈事業所」の設置について

東京都では農業試験場、畜産試験場、林業試験場の3試験場を統合し（島しょ部を除く）、「農林総合研究センター」を新設して、（財）東京都農林水産振興財団に移管されることが決まりました。

島しょ部においては、農林水産業の一体的振興を推進するため、水産試験場と農業試験場（園芸技術センター）、畜産試験場（三宅分場）、中央農業改良普及センター（支所）を統合し、「島しょ農林水産総合センター」とし3事業部門（大島・三宅・八丈）が設けられます。これにより、八丈島では水産試験場八丈分場、八丈島園芸技術センター、中央農業改良普及センター八丈支所は、「島しょ農林水産総合センター」の八丈事業所として統合されます。なお、家畜保健衛生所八丈支所は従来通りです。

新しい組織としての出発は4月からですが、庁舎の住所や電話番号に変更はありません。

水産試験場 Ⅱ二〇二〇九

こんにちは、八高です！

★敷地内が全面禁煙になります

4月1日から、八高敷地内と施設内のすべてが禁煙になります。視聴覚ホールや体育館、グラウンドなどを利用される際には、ご協力をお願いします。

★今年もがんばってます

八高生の進路

今年の就職希望者は、難関企業に多数内定し、職種も多岐にわたっています。

専門学校や大学（4大・短大）も指定校推薦と一般推薦、そして小論文や面接、研究計画などの提出に基づくAO入試で多くの生徒が合格を勝ち取りました。残るは一般入試です。国立大学にチャレンジする生徒を含め、奮闘中です。

★サッカー部「東京都新人選手権大会」4回戦で敗退

シード校の私立東海大高輪台高校を2対1で破ったサッカー部は、4地区決勝進出をかけて、12月19日、強豪私立正則学園に挑みましたが、2対4で惜敗し、新人選手権参加約300校中ベスト32で終わりました。正則学園は、身体的に鍛えられ、正確な技術でミスが少なく、結果として、4地区大会で優勝

しました（参加40校）。また、5試合中、失点したのは八高戦の2点だけで、八高はあと一歩のところまで涙をのみました。次回の活躍に期待！

★二年生修学旅行に行ってきました

2月8日から11日まで北海道函館・大沼に行ってきました。ほとんどの生徒がスキーは初めての体験でしたが、現地の講習を受け、ウインタースポーツの楽しさを満喫しました。五稜郭や元町周辺の散策のほか、乗馬やスノーモービル、ウイニングの体験など盛りだくさんの内容でした。北海道・函館・大沼などについて、班ごとに事前学習し、発表を行いました。充実した思い出いっぱい修学旅行となりました。

★第55回卒業式について

日時：3月4日（金）9時35分開式
会場：視聴覚ホール

★八高図書館を一般公開中

どうぞご利用ください。毎週日曜日の午後1時30分～4時30分。なお、3月27日、4月3日は休館です。

★都立八丈高校Ⅱ二一一八一

（全日制：小野寺、定時制：星野）

